

2009/2010 ショートトラック
国際競技会派遣選手 選考基準

平成21年6月12日
(財)日本スケート連盟

国際競技会への派遣選手選考は、以下の基準に基づき、選考委員会にて選考し、理事会で最終決議され承認される。

【第21回オリンピック冬季競技大会（2010／バンクーバー）】

- ① 期間：2月12日～28日（ショートトラック：2月13日～26日のうち、5日間）
- ② 選考人数：最大で男女各5名
- ③ 選考対象競技会：第20回全日本距離別選手権（山梨県甲府市 平成21年9月5日～6日）
第33回全日本選手権（長野県長野市 平成21年12月19日～20日）
- ④ 選考基準：以下の手続きにしたがって選考の優先順位を与え、オリンピック出場枠*を考慮して代表選手を選考する。
 - A) 500m、1000m および 1500m の各距離において、上記2大会の決勝ポイントを合計し、距離別ランキングを作成する。同点の場合は、いずれかの大会でより大きい決勝ポイントを有する者を上位とし、それも等しい場合は全日本選手権の決勝ポイントがより大きい者を上位とする。なお、2大会とも各距離でB決勝を行い、8位までに決勝ポイントを与える。また、A決勝での失格者には決勝ポイントを与えず、下位からの繰り上げは行わない。

▶ 決勝ポイントは、1位34点、2位21点、3位13点、4位8点、5位5点、6位3点、7位2点、8位1点。
 - B) 代表選手の選考については、各距離におけるランキング1位の者を優先し、次に3距離の決勝ポイント合計の上位の者から選考する。
 - C) リレーの出場権を獲得した場合、5番目の選手についてはリレーでの活用を考慮して、上記2大会の内容その他をもとに、男女各1名を金コーチが推薦し、選考委員会にて選考する。
 - D) 個人種目への出場については、出場枠2名以上の場合、当該距離のランキング1位の者に出場権を与える。出場枠1名の場合および2名以上の場合の2番目以降の出場権は、選考委員会で決定する。

* オリンピック出場枠は、ワールドカップ第3・4戦によって決定する。各NOCに与えられる出場枠は、リレーへの出場権を獲得した場合は男女各5名まで、獲得できなかった場合は最大で男女各3名までとなる。
- ⑤ 選手の入れ替え：代表選手の決定後、ケガや病気などによってオリンピックへの参加が困難だと判断された場合は、選考委員会を開催して選手を入れ替えることがある。その場合、オリンピック参加の可否は、強化スタッフ内のスポーツドクターの診断を参考にして、選考委員会にて検討する。

【ISU ワールドカップ第1戦～第4戦】

- ① 期間： W杯第1戦（平成21年9月17日～20日 中国・北京）
W杯第2戦（平成21年9月24日～27日 韓国・ソウル）
W杯第3戦（平成21年11月5日～8日 カナダ・モントリオール）
W杯第4戦（平成21年11月12日～15日 米国・マルケット）
- ② 選考人数：男女各6名
- ③ 選考対象競技会：第20回全日本距離別選手権（山梨県甲府市 平成21年9月5日～6日）
- ④ 選考基準：以下の手続きにしたがって選考する。なお、選考された選手の出場に関しては、選考競技会の成績を考慮してチームリーダーが決定する。
- A) 500m、1000mおよび1500mの決勝ポイントを合算してランキングを作成し、上位の者から男女各4名を選考する。なお、各距離でB決勝を行い、8位までに決勝ポイントを与える。また、A決勝での失格者には決勝ポイントを与えず、下位からの繰り上げは行わない。
- B) 5番目の選手として、リレーでの活用を考慮して、選考対象競技会の内容その他をもとに、男女各1名を金コーチが推薦し、選考委員会にて選考する。なお、この1名は、第1・2戦と第3・4戦とで異なる場合がある。
- C) 6番目の選手として、A)とB)で選ばれた選手を除いて500mと1000mを合算したランキングを作成し、その上位1名を選考する。

【世界選手権、世界チーム選手権】

- ① 期間：世界選手権（平成 22 年 3 月 19 日～21 日 ブルガリア・ソフィア）
 世界チーム選手権（平成 22 年 3 月 27 日～28 日 イタリア・ボルミオ）

- ② 選考人数：

		世界選手権 リレー出場権	
		あり	なし
チーム 出場 選手 権	あり	世界選手権+チーム選手権 5名	
	なし	世界選手権のみ 5名	世界選手権のみ 男子4名、女子3名

- ③ 選考対象競技会：第 33 回全日本選手権（長野県長野市 平成 21 年 12 月 19 日～20 日）

- ④ 選考基準：以下の手続きにしたがって選考する。なお、世界選手権および世界チーム選手権の選考に関しては、B 決勝の決勝ポイントは考慮しない。

- A) 選考対象競技会の総合成績上位 2 名を、世界選手権男女個人戦出場選手として選考する。
- B) 世界選手権のリレーまたは世界チーム選手権への出場権を獲得している場合は、A) に続く総合成績の上位男女各 2 名と、金コーチが推薦する男女各 1 名を選考委員会にて選考する。金コーチの推薦基準は、とくにリレーでの活用を考慮したものとする。
- C) 世界選手権リレー種目および世界チーム選手権への出場権を獲得できなかった場合は、総合成績で A) に続く選手男子 2 名、女子 1 名を選考する。
- D) 男子に関しては、上記で選考された選手で個人戦に出場が決定していない選手の中から、選考対象競技会の内容その他をもとに、1 名を個人戦出場選手として金コーチが推薦し、選考委員会にて選考する。
- E) 上記の中で、個人戦に出場しない総合成績最上位の者を個人戦補欠選手とする。

- ⑤ 選手の入替え：代表選手の決定後、ケガや病気などによって大会への参加が困難だと判断された場合は、選考委員会を開催して選手を入れ替えることがある。その場合、大会参加の可否は、強化スタッフ内のスポーツドクターの診断を参考に、選考委員会にて検討する。

【世界ジュニア選手権】

- ① 期間：世界ジュニア選手権（平成 22 年 1 月 8 日～10 日 台湾・台北市）
- ② 選考人数：男女各 4 名
- ③ 選考競技会：JOCジュニアオリンピックカップ第 29 回全日本ジュニア選手権
（東京都江戸川区 平成 21 年 11 月 21 日～23 日）
- ④ 選考基準：4 距離の決勝ポイントを合算し、上位の者より選考する。ただし、世界ジュニア選手権対象年齢の選手が、W杯前半（1～4）戦に選ばれている場合には、男女とも最大 2 名までを世界ジュニア選手権大会の内定選手とする。
また、これらの選手がオリンピック代表に選考された場合には、オリンピックへの準備を優先し、世界ジュニア選手権には派遣せず、上記基準の次点の者を繰り上げる。

※ 世界ジュニア対象年齢：2009 年 7 月 1 日現在で 14 歳以上 19 歳未満

【アジア選手権（シニア）】

- ① 期間：アジア選手権（平成 22 年 3 月 13～14 日 神奈川県・相模原市）
- ② 選考人数：男女各 4 名（予定）
- ③ 選考競技会：第 33 回全日本選手権
- ④ 選考基準：以下の手続きにしたがって選考する。
 - A) 23 歳以下（1986 年 4 月 2 日生以降）の選手を対象とする。
 - B) 総合成績で、オリンピック、世界選手権等に選考されていない選手の上位から選考する（B チーム）。
詳細は要項を確認の上、決定する。

【アジア選手権（ジュニア）】

- ① 期間：アジア選手権（平成 22 年 3 月 13～14 日 神奈川県・相模原市）
- ② 選考人数：男女各 4 名（予定）
- ③ 選考競技会：JOCジュニアオリンピックカップ第 29 回全日本ジュニア選手権
- ④ 選考基準：対象年令等、要項を確認の上、決定する。

【アジア選手権（ノービス）】

- ① 期間：アジア選手権（平成 22 年 3 月 13～14 日 神奈川県・相模原市）
- ② 選考人数：男女各 4 名（予定）
- ③ 選考競技会：JOCジュニアオリンピックカップ第 29 回全日本ジュニア選手権
または ノービス第 1・2 戦
- ④ 選考基準：対象年令等、要項を確認の上、決定する。